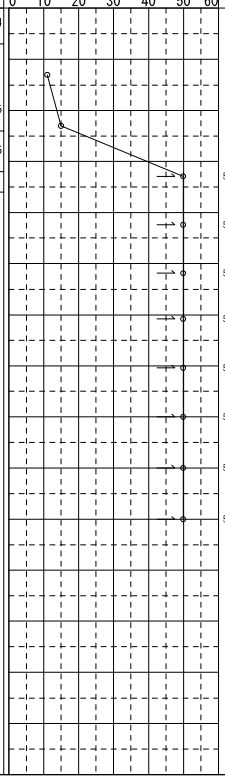
岩盤ボーリング柱状図

調査名	その他河川天地川支川１　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　掘削・掘削のり面

ボーリング名	支川I-2-No.5	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦4丁目			北緯	34° 18′ 35.3200″
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	2020／11／24～2020／11／26	東経	132° 30′ 40.0800″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 99.93m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D
総削孔長	10.00m								エンジン：(株)ヤンマー製 NFD-10　ポンプ：東邦製BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1				礫混じり砂	茶褐～赤褐								細砂主体。礫はφ2～5mm程度の亜角礫主体。やや細粒分を含む。全体的に植物根混じる。	11/24 0.70
2	97.63	2.30												
	97.23	2.70		強風化花崗岩	灰褐	w5	h4	E	VI	d	D	0[0](100)	強風化したDL級花崗岩。砂状コアで採取される。指圧で容易に崩壊する。	11/25 2.40
3				風化花崗岩	灰茶褐	w5	h4	E	V	d	D	0[0](100)	風化した粗粒花崗岩。GL-5.4mまでは岩級区分DM級を呈し，指圧で破砕できる程度の礫状コアで採取される。長石の粘土化が顕著に見られる。GL-5.4m以深はDH級を呈し，ハンマー軽打で容易に崩れる程度の礫状コアで採取される。長石の粘土化は部分的に認められる。	11/25 3.20 3.60
4												0[0](100)		
5												0[0](100)		
6						w4	h3	D				0[0](100)		
7	92.63	7.30										0[0](100)		
8				花崗岩	灰茶褐	w3	h2	C	IV	c	CL	12[12](100)	GL級の粗粒花崗岩。密着亀裂が無数に発達し，ハンマー打撃により破砕される。亀裂面の褐色化が認められる。	
9												8[0](100)		
10	89.93	10.00												
11														
12														
13														
14														
15														

標準貫入試験



N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
11	1.15	11		
	1.45	300		
15	2.15	15		
	2.45	300		
50以上	3.15	50	280	
	3.43	280		
50以上	4.15	50	180	
	4.33	180		
50以上	5.15	50	80	
	5.23	80		
50以上	6.05	50	60	
	6.11	60		
50以上	7.00	50	80	
	7.08	80		
50以上	8.00	貫入不能		
50以上	9.00	貫入不能		
50以上	10.00	貫入不能		

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		11/24	390	66／ケーシング	打込み／打込みシュー	0	0	0	W0	0
					S／M	40	100	0	W3 15	15
						50	100			
			270			100	120			
						150	120			
		11/25		66	W／D	30	80	0	W3 7	7
			390			50	100			
		11/26								